



Sendero Pacifico (Costa Rica)



Camino de Santiago (Spain)

Photo by: Manuel Valcárcel Cabo



Great Himaraya Trails (Nepal)



Kythera Hiking (Greece)



SANIN KAIGAN GEOPARK TRAIL

第6回 ワールド・トレイルズ・カンファレンス 鳥取大会

2016.10.14 Fri - 10.17 Mon

主会場 倉吉未来中心

主催 ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会実行委員会
ワールド・トレイルズ・ネットワーク

共催 関西広域連合
(広域観光・文化・スポーツ振興局)

特別後援 新日本海新聞社

後援 日本ウォーキング協会、全日本ノルディック・ウォーク連盟、日本ロングトレイル協会、鳥取看護大学、鳥取短期大学、BSS山陰放送、エフエム山陰、NHK鳥取放送局、TSK山陰中央テレビ、山陰中央新報社、毎日新聞鳥取支局、産経新聞鳥取支局、朝日新聞鳥取総局、鳥取中央有線放送、読売新聞鳥取支局、日本海ケーブルネットワーク、日本海テレビ、山陰インバウンド機構、アシックスジャパン株式会社、鳥取県信用保証協会、観光庁、厚生労働省、スポーツ庁（順不同、敬称略）

目次

01 大会長・主催者挨拶

02 第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会 日程

03 第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会 プログラム

10月15日（土）プログラム（記念講演、分科会Ⅰ・Ⅱ）

10月16日（日）プログラム（分科会Ⅲ・Ⅳ、クロージング）

06 ワールドウォークフェスタinとっとり概要

08 ワールド・トレイルズ・カンファレンス概要

08 ワールド・トレイルズ・ネットワーク概要

10 アジア・トレイルズ・ネットワーク概要

11 第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会 参加団体一覧

13 第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会 参加団体概要

鳥取県と日本財団は「日本一のボランティア先進県」の実現を目指し、地域内での民間活動を活性化しつつ県民一人ひとりが県の未来を考え、動く社会に向けた3分野9プロジェクトに取り組んでいます。

この取組の中で、日本財団は健康寿命日本一を目指し、ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会の取り組みを応援しています。



響かせようトットリズム♪

歓迎の言葉



大会長・鳥取県知事
平井 伸治

“Walking Resort Tottori”へようこそお越しくございました。
「第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス」へいらっしやいました世界19の国や地域の皆様を、鳥取県民とともに心より歓迎申し上げます。
鳥取県は、日本の中でも大自然が満喫でき、温泉や昔からの街並み、名探偵コナンの里などを、心温かい人々に囲まれながら歩くことができる、美しいとびきりのトレイル好適地です。
世界中から志をともにする仲間が集まりました。世界中の人々の喜びと健康のためにトレイルの在り方を論じ合い、実際に鳥取県の多彩なコースを皆様の足と目で確かめていただき、忘れ得ぬ思い出と未来の地域発展の鍵を共有していただければと考えています。
さあ、美しい秋の日本、心優しい人々が住む鳥取県を、ともに豊かな未来へ向かって歩きましょう。「しどろもどろの歩き方でなく、大地を一步一步踏みつけて、手を振って、いい気分、進まねばならぬ。急がずに、休まずに。」
有名な志賀直哉の『暗夜行路』という小説のクライマックスで、主人公は鳥取県の大山（だいせん）の山道を登ります。
歩くことは、人生を確かに生きるということです。その原点が、鳥取県なのです。
世界中にトレッキングの花が咲くように、お集まりの皆様方とともに、手を振って歩いていきます。皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会 大会長・鳥取県知事 平井 伸治

主催者挨拶



実行委員会 会長
山田 修平

いよいよワールド・トレイルズ・カンファレンスを、この鳥取の地で開催いたします。実施にあたり、本当に多くの方々のご支援を頂きました。心よりお礼申し上げます。「歩く」ことが大好きな皆さま、世界各国、日本各地また県内各地から、ご参加ありがとうございます。皆さまのご参加があってこそこの大会です。心より歓迎いたします。
ウォーキング、トレイル、健康、人と自然、地域づくりなどについて大いに語り合ひましょう。そして語るだけではなく、一緒に歩きましょう。
歩くことは、なぜこれほど楽しいのでしょうか。人間の原点が「動く」こと、さらにその基本が「歩く」ことだからかもしれません。「歩く」と細胞の一つひとつが蘇り、心身がリフレッシュするのを感じます。「歩く」ことで、普段は見落としていた、道ばたの草花や鳥の鳴き声、古い街並みの風情、山の鼓動、そして爽やかな風を感じることができます。人と自然に穏やかに係わることができます。
海、山、湖などの豊かな自然、悠久の歴史と文化、穏やかな町並み、そして人々のぬくもり等「日本の故郷」の姿が、この地にはあります。
とびっきりの9つのコースを設けました。お好きなコースを、お好きなように歩き、トレイルし「日本の故郷」鳥取を心ゆくまで楽しんで下さい。

ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会実行委員会 会長 山田 修平



ワールド・トレイルズ・ネットワーク委員会
会長

ガレオ
セインツ
(南アフリカ)

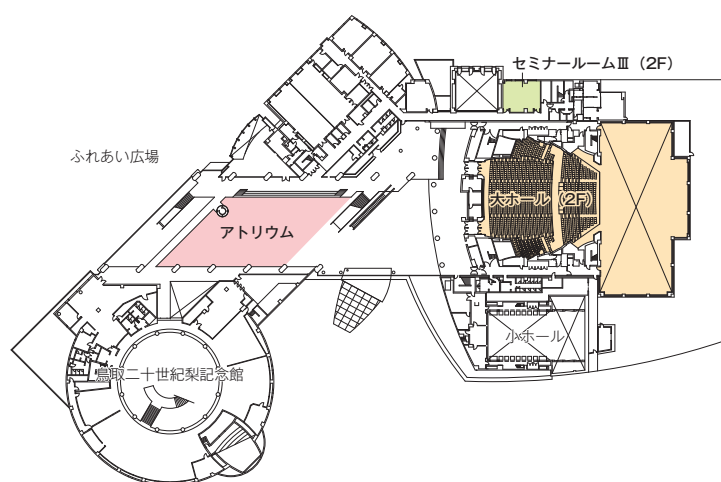
トレイルはグローバル・ヘルスへの道を築く
トレイルはあなた、私、そして世界中どこに住んでいる人にも関係するものですが、その最も大きな理由は、トレイルがとても独特な健康上の利点をもたらすからです。研究では、トレイルや自然の中で時間を過ごす、人々は賢くなり、新しい役割をより早く学び、自尊心や問題解決力が高まり、肉体的、思想的、精神的にバランスが取れるようになるとはっきりと示されています。
第6回目となるこの国際的なトレイル会議では、共通する価値観、ベストプラクティス（最優良事例）、研究や資源の共有を元に、トレイルに関する国際的な議論と開発を促進することに重点が置かれています。会議で新しい友人を作りながら、考えや知識を共有し、トレイルの持つ国際的な特性やトレイルがそれぞれの文化を結びつける役割についても、理解を深めることが出来るでしょう。
トレイルは私たちに刺激します。トレイルは幸福と経験の共有をもたらします。しかし、しばしば当たり前なものともみなされます。トレイルはまた、私たちの帰属する場所です。私たちはみな人間という大きな家族の一員であり、トレイルがあるからこそ、屋外での経験の共有を通してお互いにつながる事が出来るのです。
この数日間、トレイル体験を享受しながら、素晴らしいウォーキング・リゾートである鳥取県で与えられる機会を是非満喫していただければと思います。皆さまが新しい友好関係を築かれるだけでなく、私たちの生活・健康そしてこの美しい地球に貢献しているトレイルの重要性を今後支持し続けられるためのインスピレーションをこの大会で受けられることを願っております。

ワールド・トレイルズ・ネットワーク委員会 会長 ガレオ・セインツ

第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会 日程

10月14日 (金)	10月15日 (土)	10月16日 (日)	10月17日 (月)
	<p>10:00~11:00 オープニング・記念講演 会場：大ホール</p> <p>11:00~13:00 世界の取組とトレイル紹介 会場：大ホール</p>	<p>午前 ワールドウォークフェスタ in とっとり★</p>	<p>終日 とっとりを歩こうツアー★ ◆山陰海岸ジオパークコース ◆日本遺産三徳山コース ◆日本遺産大山コース</p>
<p>14:30~16:00 アジア・トレイルズ・ネットワーク総会 会場：セミナールームⅢ</p>	<p>14:00~15:30 分科会Ⅰ 「ウォーキングと健康」★ 会場：セミナールームⅢ</p>	<p>14:00~15:00 分科会Ⅲ「トレイルと文化・自然」★ 会場：セミナールームⅢ</p>	
<p>16:30~18:00 ワールド・トレイルズ・ネットワーク総会 会場：セミナールームⅢ</p>	<p>16:00~17:00 分科会Ⅱ 「トレイル・ウォーキングと地域の活性化」★ 会場：セミナールームⅢ</p>	<p>15:00~16:00 分科会Ⅳ「トレイルと国際マーケティング」★ 会場：セミナールームⅢ</p>	
<p>18:30~20:30 歓迎レセプション★ 会場：ホテルセントパレス倉吉</p>	<p>18:00~20:00 交流会 (トリバル in 倉吉)★ 会場：倉吉駅周辺</p>	<p>16:30~18:00 クロージング★ 会場：セミナールームⅢ</p>	
<p>10/15 (土) ~16日 (日) 9:30~18:00 WTC鳥取大会企画展示 会場：アトリウム</p>			

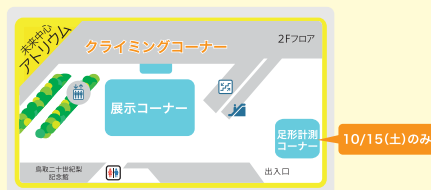
★有料プログラム ※14日 (金) のプログラムは関係者のみ



▶ 同時開催

● WTC鳥取大会企画展示 会場：アトリウム

鳥取県のスポーツツーリズムやWTC鳥取大会参加団体の紹介など、鳥取県や世界各国の自然や地形を活かしたすばらしいウォーキングコースの情報が勢揃い。世界の様々なウォーキングの楽しみ方を感じていただけます。クライミングの無料体験コーナーもあります。



▶ 併催行事

- B級グルメバトル (10/15(土)~16日(日)) ふれあい広場
- トリバルin倉吉 (10/13(木)~16日(日)) 倉吉駅周辺
- 第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス統一研修会in鳥取 (10/15(土)~16日(日)) 上灘公民館

■ 記念講演 10:20~11:00

「夢を追い続けて、歩く」

2013年5月、3度目の世界最高峰エベレスト(8,848m)登頂に成功し、世界最高年齢(80歳)での登頂記録を樹立した三浦雄一郎さんが、人生と向き合い、夢を追い続けて歩くことの苦勞と楽しさ、そこで得られるもの、目標を持つことによって元気に明るく生きる工夫と努力、家族と人の絆の大切さ、そして新たな挑戦について語ります。



三浦 雄一郎(みうら ゆういちろう)氏 (プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校長)

1932年青森市に生まれる。1970年エベレスト・サウスコル8,000m世界最高地点スキー滑降(ギネス認定)を成し遂げ、その記録映画[THE MAN WHO SKIED DOWN EVEREST]はアカデミー賞を受賞。1985年世界七大陸最高峰のスキー滑降を完全達成。2013年80歳にて3度目のエベレスト登頂〔世界最高年齢登頂記録更新〕を果たす。アドベンチャー・スキーヤーとしてだけでなく、全国に1万人以上生徒がいる広域通信制高校、クラーク記念国際高等学校の校長も務める。

■ プレゼンテーション 11:00~13:00

「世界の取組とトレイル紹介」

1



| ギリシャ

ギリシャの道
トレイル名:
キティラ ハイキング

2



| スペイン

ガリシア観光庁、
シャコベオ計画管理協会
トレイル名:
カミノ・デ・サンチアゴ
(セント・ジェームズ・ウェイ)
Photo by: Manuel Valcarcel Cabo

3



| オーストラリア

ビバルマン・トラック
トレイル名:
ビバルマン・トラック

4



| 韓国

社団法人済州オルレ
トレイル名: 済州オルレ

5



| 南アフリカ

リム・オブ・アフリカ
トレイル名:
リム・オブ・アフリカトレイル

6



| 台湾

社団法人台湾千里歩道協会
トレイル名: 台湾トレイル

7



| ネパール

サマルス・ネパールの
市場開発プログラム
トレイル名:
グレート・ヒマラヤ・トレイルズ

8



| トルコ

トルコ文化の道協会
トレイル名:
トルコ文化の道
(リシアンウェイ)

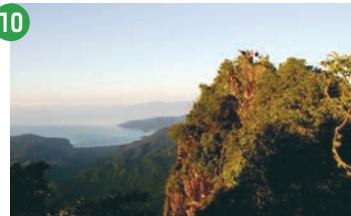
9



| パナマ

パナマ徒歩財団

10



| ブラジル

世界自然保護基金ブラジル

■ 分科会 I 14:00~15:30

「ウォーキングと健康」 ～ウォーキングの身体的・精神的効果について～

ウォーキングがもたらす効果として5K(健康・教育・交流・環境・観光)があげられているが、ウォーキングを通じたエンターテインメント性が人々の健康に与える影響は計り知れない。ノルディック・ウォークやトレイル活動を通じた身体的影響や環境整備について、日本、米国、韓国の現状から、健康寿命の延伸のための方策を模索する。

コーディネーター



松田 隆(まつだりゅう)氏

(鳥取県中部医師会会長) 日本

まつだ小児科医院院長。子どもたちの足の異常(内反小趾、外反母趾、扁平足など)、前弯などの姿勢のゆがみ、しゃがめないなどの体の硬さに気づき、高齢者の寝たきりやロコモティブシンドロームを予防し、NNK(ねんねんころり)ではなく、PPK(ぴんぴんころり)となるために、子どもの時からの足元からの健康づくり(ウォーキングテインメント)を提唱し、実践、普及啓発している。

パネリスト



柳本有二(やなぎもとゆうじ)氏

(神戸常盤大学 教授) 日本

東京学芸大学教育学部附属世田谷小学校教諭、兵庫大学健康科学部教授を経て、2008年より神戸常盤大学保健科学部看護学科教授、現在に至る。医学博士。専門分野は運動生理学、健康科学、子供の健康づくり 他。



ロバート・サーンズ氏

(トレイル・プランナー/トレイル開発者) アメリカ

高度なトレイルを40年間開発し続け、受賞歴を持つロバート・サーンズ氏は、地域と協力しながらデンバーのプラットリバー緑道からグランド・キャニオン国立公園トレイルまでの範囲における数々の事業を計画し、実施してきた。「計画・設計・開発のガイドブック『グリーンウェイ』(アイランドプレス出版社)の共著者であり、「国際運動『グリーンウェイ』の始まり」(エルセビエル出版社)にも貢献した。「プランニング、ランドスケープ・アーキテクチャーLAチャイナ」と「アメリカン・トレイル・マガジン」に寄稿した。アメリカ合衆国国立公園局で指導者として活躍し、オバマ大統領が出席したアメリカ・グレート・アウトドア会議にも代表団員として出席した。アメリカン・トレイルの名誉会長。「ワールド・オブ・トレイルズ・マガジン」の記事を編集するワールド・トレイルズ・ネットワーク委員会のメンバーである。



李 康玉(イ・ガンオク)氏

(大韓ウォーキング連盟 理事長) 韓国

理学博士。尚志(さんじ)大学体育学部教授、韓国ウォーキング科学学会名誉会長、国際ウォーキング連盟(IML)執行委員ほか。「あなたの二本の足が医者です!!!」のスローガンで、韓国で初めてウォーキングスポーツを広めた名士。

■ 分科会 II 16:00~17:00

「トレイル・ウォーキングと地域の活性化」 ～日本のトレイルの事例紹介～

いま、ロングトレイルが注目されている。健康、自然環境、歩く旅、インバウンド、そして地域の活性化などがコンテンツである。現在、日本ロングトレイル協会には、18のロングトレイルが加入し、まだまだ増えると考えられる。鳥取県では山陰海岸ジオパークトレイルがメンバーだ。そこで、ロングトレイルムーブメントの背景と実態を解説する。



中村 達(なかむら とおる)氏 (日本ロングトレイル協会代表理事、青森大学客員教授、アウトドアジャーナリスト) 日本

アウトドアズの普及と地域活性化のために、ロングトレイルの整備と普及活動をおこなっている。著書に「アウトドアズマーケティングの歩き方」「アウトドアビジネスへの提言」「アウトドアズがライフスタイルになる日」など。中学時代から登山をはじめ、カラコルムラトック峰など国内外の登山多数。日本山岳会会員。

longtrail.jp/

■ 分科会Ⅲ 14:00~15:00

「トレイルと文化・自然」

トレイルは世界中の小道や主要道路の始まりである。人類の歴史が始まって以来、トレイルは人と人とを繋ぎ、人々が定住した場所とそれを取り囲む自然の景観とを繋いできた。この分科会では、文化遺産において現在トレイルが持つ重要な役割と、トレイルがどのように人々と自然界との関わりを形作っているのかについて探る。ブラジルの社会と自然保護地域を繋ぐ推進力となっているトレイル、コスタリカの地域開発に寄与しているトレイル、ギリシャの豊かな文化遺産を享受しているトレイル等を紹介する。

コーディネーター



アンナ・カロライナー・ロボ氏
(世界自然保護基金ブラジル) ブラジル



フィボス・ツサラヴォポロス氏
(ギリシャの道、マネージャー・トレイル開発者) ギリシャ

国内外のトレイル・ネットワークで計画、開発と促進事業に長年携わってきた。トレイルの設計、誘導サインの設置、インターネット上のPR活動の専門として活躍してきた。ワールド・トレイルズ・ネットワークの会計係も務めている。



ナット・スクリムショー氏 (センデロ・パシフィコ連合、コーディネーター) コスタリカ

コスタリカにあるセンデロ・パシフィコ連合の共同創立者であり、現在コーディネーターとして活躍している。グアテマラに生まれ、家族をコスタリカで育て上げ、現在コスタリカと米国ニューハンプシャー州のホワイト山地の2か所に拠点を置いている。センデロ・パシフィコ連合に勤めながら、アパラチアン・マウンテン・クラブでフランコニア山脈トレイル担当者として活躍している。フランコニア山脈トレイルは、ナショナルジオグラフィックの「世界トップ20ハイキング・コース」に指定され、全長3,500キロのアパラチアン・トレイルの一部。

■ 分科会Ⅳ 15:00~16:00

「トレイルと国際マーケティング」

この分科会では、トレイルマーケティングの概要、国際的レベルの例、そしてそれらをどのように各々のトレイルに生かすのかについて紹介する。プレゼンテーションでは、全てのマーケティング素材、インターネット上の情報、ソーシャルメディアへの投稿において一貫したブランドを発信する方法を、国際的な顧客に対しトレイルを広報するという視点で説明する。

コーディネーター



エウエン・ホーガン氏 (クリア州、地方レクリエーション官) アイルランド

エウエン・ホーガン氏は、アイルランド・クリア州のレクリエーション官であり、550キロ以上の遊歩道・自転車道を管理している。クリア州にある野外活動用トレイルの開発・修理・促進の監視役を果たしている。私有地にあるトレイルを管理するための維持費を地主に払う「ウォーク・スキーム」という政府事業も管理している。その他、パンフレットの作成、トレイルのホームページの管理、ソーシャル・メディアを通して情報発信等も行っている。



ジャッキー・ランデル氏 (ブルーストレイル、組織資源ディレクター) カナダ

2002年にブルーストレイル保全協会(BTC)で勤め始め、現在、組織資源ディレクターとして人事、カスタマー・サービス職員およびボランティア事業の担当を務めている。BTCのボランティア事業が2002年より拡大し、ボランティアスタッフが800人から1,500人に増え、BTC職員数が8人から16人へ、そしてBTC会員数が9,000名以上に増加。

現在関わっている主な事業は、ブルーストレイル50周年記念事業、会員・援助資金供与者・ボランティアスタッフ用データベースのアップグレード、BTC本部の移転、友好トレイル紹介を通してのブルーストレイル保全協会の国際イメージ作り、ワールド・トレイルズ・ネットワーク活動への継続的参加等。ランデル氏は、人類学の学士号を取得し、大学院で人事・ボランティア管理学を専攻した。



カーステイン・ステンダー氏 (ビバルマン・トラック、トレイル・コーディネーター) オーストラリア

カーステイン・ステンダー氏は、西オーストラリア州公園・野生生物局のトレイル・コーディネーターであり、当局の長距離トレイルの総合管理をしながら、他のトレイルの方策責任を果たしている。現在、トレイル・ビジネス経営モデル専攻で観光マネジメント修士号を取得中。ドイツ生まれのステンダー氏は、以前から世界各地でハイキング、サイクリング、カヤック等をし続け、常にアウトドアに熱心である。

■ クロージング 16:30~18:00

WTC鳥取大会総括、大会宣言など



ガレオ・セイツ氏 (ワールド・トレイルズ・ネットワーク委員会 会長) 南アフリカ



ワールドウォーク

10/15 距離 **5.7km** 定員 **300人**

参加特典

- ①倉吉銘菓
- ②天然還元水「白山命水」
- ③倉吉観光ガイド配置
- ④手づくりイタリアン軽食
- ⑤ウォーキングくらすげくん缶バッジ

打吹山に抱かれた倉吉とそこに流れた時代を歩く

A. 打吹山・赤瓦ウォーク
～伯耆国倉吉漫(そぞ)ろ歩き～

受付時間 **11:30~** 出発式 **13:00** 出発 **13:15**

10/15 距離 **5.5km** 定員 **300人**

参加特典

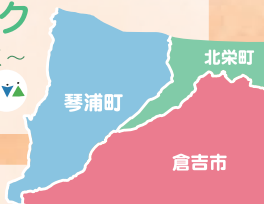
- ①名探偵コナンイラスト入り完歩証
- ②特産品が当たる抽選会
- ③北栄町特産品
- ④オリジナル缶バッジ

オンラインの名探偵コナンの世界を感じよう

謎を解きながら進むコース。国内屈指の史跡由良台場、市町村直営では最大級の風車を臨む砂浜など名探偵コナンの世界とあわせて北栄町の歴史を感じることができる。

B. ほくえい謎解きウォーク
～世界で唯一名探偵コナンに会えるまちを歩く～

受付時間 **9:00~** 出発式 **9:50** 出発 **10:15**



10/15 琴浦グルメdeめぐるウォーク

距離 **7.0km** 定員 **900人**

180度の水平線を眺め、心地よい潮風と波の音に癒されながら神崎神社・鳴り石の浜などを巡る。豊かな大地と水から生まれる牛骨ラーメン、スイーツなどのグルメを堪能しながら至福の時間を過ごす。

C. 潮風を感じる『琴ノ浦コース』

受付時間 **8:50~** 出発式 **10:00** 出発 **10:20**

距離 **5.0km** 定員 **60人**

森林浴のなか、高さ30mの吊り橋をわたり、大山滝を目指すトレッキングコース。ウォーク後に一向そばを堪能。爽やかな秋の風を肌を感じながら、水の音に癒される。

D. 森林浴スポット『大山滝コース』

受付時間 **8:50~** 出発式 **10:00** 出発 **11:00**

！急な階段があり健脚の方向へのコースです。

参加特典

- ①抽選会
- ②ヨガ体験
- ③オリジナル缶バッジ
- ④琴浦の水
- ⑤おやつ(幼児のみ)
- ⑥ゆるキャラ登場
- ⑦【琴ノ浦コース】地元グルメ出店(クーポン券有)
- ⑧【大山滝コース】手打ちそば堪能
- ⑨観光ガイド付き
- ⑩スタッフのおもてなし

スタート場所・シャトルバス時刻表

Aコース						スタート場所：倉吉未来中心パークスクエア					
往路			復路			往路			復路		
のりば	時間					のりば	時間				
JR倉吉駅臨時バスのりば	11:00	11:20	11:40	12:00		倉吉未来中心正面バスのりば	14:45	14:50	15:00	15:15	15:30
倉吉未来中心正面バスのりば	11:10	11:30	11:50	12:10		JR倉吉駅臨時バスのりば	14:55	15:00	15:10	15:25	15:40
						はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	—	—	—	15:40	15:55
						三朝温泉旅館協同組合前	—	—	—	16:00	16:15

Bコース						スタート場所：出会の広場(旧鳥取県運転免許試験場)						
往路			復路			往路			復路			
のりば	時間					のりば	時間					
はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	8:00	—	8:30	—	—	出会の広場	12:15	12:35	12:55	13:15	13:35	13:55
三朝温泉旅館協同組合前	—	8:20	—	8:40	—	倉吉未来中心正面バスのりば	12:35	12:55	13:15	13:35	13:55	14:15
JR倉吉駅臨時バスのりば	8:15	—	8:45	—	9:00	JR倉吉駅臨時バスのりば	12:45	13:05	13:25	13:45	14:05	—
倉吉未来中心正面バスのりば	8:25	8:35	—	8:55	—	三朝温泉旅館協同組合前	—	—	—	14:00	—	14:30
出会の広場	8:45	8:55	9:05	9:15	9:20	はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	—	—	13:40	—	14:20	—

C・Dコース						スタート場所：東伯総合公園						
往路			復路			往路			復路			
のりば	時間					のりば	時間					
はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	8:00	—	8:30	—	—	東伯総合公園	12:40	13:00	13:20	13:40	14:15	14:40
三朝温泉旅館協同組合前	—	8:20	—	8:40	—	倉吉未来中心正面バスのりば	13:15	13:35	13:55	14:15	14:50	15:15
JR倉吉駅臨時バスのりば	8:15	—	8:45	—	9:00	JR倉吉駅臨時バスのりば	13:25	13:45	14:05	—	15:00	15:25
倉吉未来中心正面バスのりば	8:25	8:35	—	8:55	—	はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	13:40	—	14:20	—	—	15:40
東伯総合公園	9:00	9:10	9:30	9:30	9:35	三朝温泉旅館協同組合前	—	14:00	—	14:30	—	16:00

フェスタ in Tottori とっとり

10/16 距離 **8.3km** 定員 **300人**



参加特典

- ① 廃線跡トンネルウォーク
- ② 「セキガネ温泉手づくり文化祭」コラボ
- ③ 関金産蕎麦粉使用 明高手打ちそば

ふれあい 大自然 原風景 異空間を満喫

セキガネ温泉手づくり文化祭では地元住民とのふれあい、名峰大山、蒜山三座を臨む稲田治いの農道で日本の原風景を感じ、郷愁感溢れるホーム跡、幻想的な竹林で探検気分と変化に富んだコース。

E. 開湯1300年関金温泉と旧国鉄倉吉線廃線跡ウォーク
～日本の原風景を歩く～

受付時間 9:15～ 出発式 10:30 出発 10:45

10/16 距離 **9.0km** 定員 **200人**



参加特典

- ① 地元産季節のフルーツ
- ② 三朝温泉発祥地「株湯」で飲泉
- ③ 地元食材を使用した郷土料理
- ④ ゴール地点で三朝温泉足湯
- ⑤ 三朝温泉 まちあるきクーポン配布
- ⑥ 三朝町特産品 お楽しみ抽選会開催

三朝温泉と三徳山の歴史を辿る 歴史を辿る 三朝温泉 参詣の道

日本遺産に認定された三朝温泉・三徳山の歴史を辿る道。三朝温泉から三徳山への道のりは、かつての三徳山参詣の道を進むコースとなっており、歴史・文化・自然を楽しむことができる。

F. 日本遺産を巡る道ウォーク
～三朝温泉から三徳山に続く歴史を辿る～

受付時間 8:00～ 出発式 9:00 出発 9:30



10/16 ゆりはま天女おもてなしウォーク

距離 **18.0km** 定員 **300人**



眺望と秋の湖岸を満喫!

古代文化の里「馬ノ山」からの眺望と秋の湖岸を満喫!

距離 **5.0km** 定員 **700人**



懐かしさと新しい発見が必ず見つかる レトロな街並み

オプション 屋形船での東郷湖遊覧 (有料・当日先着受付)

I. らくらく&わんぱくウォーク
距離 **4.0km** 定員 **100人**

※ 受付時間・出発式・出発はHコースと同様

G. 東郷湖と馬ノ山を巡る道ウォーク
～秋のゆりはまを眺望できる道～

受付時間 8:00～ 出発式 8:40 出発 9:00

新日本歩く道紀行100選シリーズ

H. 東郷湖とレトロな街並みウォーク
～昭和レトロな街並みを散策できる道～

受付時間 9:00～ 出発式 10:00 出発 10:20

新日本歩く道紀行100選シリーズ

16日 G・H・Iコース 限定

天女からの贈り物 事前予約のみ 850円



- 参加特典**
- ① 東郷湖産しじみ汁無料配布
 - ② 湯梨浜町産の梨・野花豊後の梅酢ジュース
 - ③ 湯梨浜名物「鬼嫁の会」のおもてなし
 - ④ ゆりはまの温泉施設入浴無料券
 - ⑤ 中国庭園「燕趙園」入園無料券
 - ⑥ ゆりはまおもてなし利用券(400円分)
 - ⑦ グラウンド・ゴルフホールインワンゲーム

Eコース スタート場所：関金総合運動公園

往路

のりば	時間						
はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	7:55	—	—	—	—	—	—
三朝温泉旅館協同組合前	—	8:05	—	—	—	—	—
JR倉吉駅臨時バスのりば	8:15 乗り換え 8:20	—	8:35	8:55	9:15	9:30	9:45
倉吉未来中心正面バスのりば	—	8:20 乗り換え 8:30	8:45	9:05	9:25	—	—
関金総合運動公園	8:50	9:05	9:25	9:45	10:00	10:15	—

復路

のりば	時間						
関金総合運動公園	13:30	13:45	14:00	14:20	14:40	15:00	—
倉吉未来中心正面バスのりば	13:50	乗り換え 14:10	乗り換え 14:30	14:40	15:00	15:20	—
JR倉吉駅臨時バスのりば	—	14:20	14:40	14:50	15:10	15:30	—
はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	—	—	14:55	—	15:25	—	—
三朝温泉旅館協同組合前	—	14:40	—	—	15:45	—	—

Fコース スタート場所：ふるさと健康村

往路

のりば	時間		
はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	7:35	—	7:55
JR倉吉駅臨時バスのりば	7:55	8:05	8:15
倉吉未来中心正面バスのりば	—	—	8:25
ふるさと健康村	8:10	8:20	8:40

復路

のりば	時間							
三徳山駐車場	12:00	12:20	12:40	13:00	13:20	13:40	14:05	—
三朝温泉旅館協同組合前	12:10	12:30	12:50	13:10	13:30	13:50	14:15	—
ふるさと健康村	12:15	12:35	12:55	13:15	13:35	13:55	14:20	—
倉吉未来中心正面バスのりば	—	12:50	—	13:30	—	14:10	—	—
JR倉吉駅臨時バスのりば	—	13:00	—	13:40 乗り換え 13:55	—	14:20 乗り換え 14:40	—	—
はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	—	—	—	14:10	—	14:55	—	—

G・H・Iコース スタート場所：中国庭園 燕趙園

往路

のりば	時間										
はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	7:35	7:55	—	—	—	8:55	—	—	—	—	—
三朝温泉旅館協同組合前	—	—	7:40	—	8:05	—	—	—	—	—	—
倉吉未来中心正面バスのりば	—	—	—	—	8:20	—	—	—	—	—	—
JR倉吉駅臨時バスのりば	—	—	8:00	8:10	8:30	8:45	—	9:15	9:30	9:40	—
燕趙園(龍鳳閣前バスのりば)	7:45	8:05	8:10	8:20	8:40	8:55	9:05	9:25	9:40	9:50	—

復路

のりば	時間											
燕趙園(龍鳳閣前バスのりば)	11:45	12:05	12:25	12:45	13:05	13:25	13:55	14:10	14:30	14:45	—	
JR倉吉駅臨時バスのりば	11:55	12:15	12:35	12:55	13:15	13:35	14:05	14:20	14:40	14:55	—	
倉吉未来中心正面バスのりば	12:05	12:25	12:45	13:05	—	13:25	13:45	14:15	—	—	—	
三朝温泉旅館協同組合前	—	—	—	13:20	—	—	14:40	—	—	—	—	
はわい温泉・東郷温泉旅館組合前	—	—	—	—	—	14:10	—	14:55	—	—	—	

※一部変更になる場合があります。

ワールド・トレイルズ・カンファレンス概要

●ワールド・トレイルズ・カンファレンス

ワールド・トレイルズ・カンファレンス（WTC）は、グローバルなトレイル産業の関係者が集まることのできる国際的な代表の場として、2010年に発足されました。ワールド・トレイルズ・カンファレンスは世界中のトレイルに関する新しい傾向やベストプラクティス（最優良事例）を紹介し、最新の情報や経験を共有することを目的とし、また、質の高いトレイルを持続可能な形で開発、維持するための協力体制やネットワーク構築を目指しています。ワールド・トレイルズ・カンファレンスは地域の人々の生活に利益をもたらす、自然保護を促進し、地域に経済的効果を与えることの出来るトレイルツーリズム及びトレイルの開発を推進しています。ワールド・トレイルズ・カンファレンスでは世界中の多様性に富んだトレイルが紹介され、トレイル産業に関わる全ての人が、トレイルを通じて世界をより良い場所にするために、見識やひらめきを分かち合う素晴らしい機会を得ることができます。



●ワールド・トレイルズ・カンファレンス開催の歴史

大会名	日程	場所
第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会	2016年10月14～17日	日本鳥取県
第5回ワールド・トレイルズ・カンファレンス	2015年1月15～17日	韓国濟州島
第4回ワールド・トレイルズ・カンファレンス	2014年1月15～17日	韓国濟州島
第3回ワールド・トレイルズ・カンファレンス	2012年10月29～31日	韓国濟州島
第2回ワールド・トレイルズ・カンファレンス	2011年11月7～9日	韓国濟州島
第1回ワールド・トレイルズ・カンファレンス	2010年11月7～9日	韓国濟州島

ワールド・トレイルズ・ネットワーク概要

●ワールド・トレイルズ・ネットワーク

ワールド・トレイルズ・ネットワークはスイスのジュネーブに拠点を置いている国際的な非営利団体です。世界中の多様性に富んだトレイルを繋ぐことで、素晴らしいトレイルの経験を作り出し、改善し、保護するよう努力を続けています。世界中のトレイル団体、トレイル利用者、その他アウトドアを愛するすべての人を一つにし、世界のトレイルの向上のためのグローバルな協力体制やネットワークの構築を目指しています。



●ワールド・トレイルズ・ネットワークの主な事業

ワールド・トレイルズ・ネットワークは、人々と自然・野外・文化遺産を繋ぐ役割を果たす様々なトレイル団体との国際協働と連携を推進しています。ワールド・トレイルズ・ネットワークは次のことを促進しています。

- 環境保護、持続可能な開発、ベストマネジメントプラクティス（最優良管理事例）やトレイルに関する研究結果の共有。
- 質の高い体験のための取り組み、地域とのつながり、精度の高い情報、クロスマーケティング（顧客の相互紹介）の機会の促進。
- トレイルに関する価値観の共有、アウトドアや自然の中での活動的なライフスタイルの促進。

●ワールド・トレイルズ・ネットワーク委員会メンバー

ワールド・トレイルズ・ネットワーク委員会メンバーは全員ボランティアであり、月に一回インターネットの電話会議で、5つの重要課題を前進させるべく議論を行っています。

●初代ワールド・トレイルズ・ネットワーク 委員会構成員 (2012.10~2014.01)

会長	ガレオ・セインツ (リム・オブ・アフリカ)
知識資源共有小委員会	ロバート・サーンズ (アメリカン・トレイルズ協会) ローラ・ベルレビル (アパレチアン・トレイル保存協会) ジョン・フィ (韓国歩く道連合)
マーケティング・プロモーション小委員会	イ・スジン (社団法人済州オルレ) ガレオ・セインツ (リム・オブ・アフリカ) ジャッキー・ランデル (ブルース・トレイル保全協会)
カンファレンス・イベント小委員会	ジョン・ジヘ (社団法人済州オルレ) ロバート・サーンズ (アメリカン・トレイルズ協会) ジャッキー・ランデル (ブルース・トレイル保全協会) リズ・ネルソン (ヨーロッパ徒歩旅行者協会)
戦略・開発小委員会	ローラ・ベルレビル (アパレチアン・トレイル保存協会) ジョン・ジヘ (社団法人済州オルレ) ガレオ・セインツ (リム・オブ・アフリカ)

●2代ワールドトレイルズ ネットワーク委員会構成員 (2014.01~)

会長	ガレオ・セインツ (リム・オブ・アフリカ)
副会長	ローラ・ベルレビル (アパレチアン・トレイル保存協会)
総務	ジャッキー・ランデル (ブルース・トレイル保全協会)
知識資源共有小委員会	ロバート・サーンズ (アメリカン・トレイルズ協会) ジョン・フィ (韓国歩く道連合) カースティン・ステンダー (ビバルマン・トラック)
マーケティング・プロモーション小委員会	ガレオ・セインツ (リム・オブ・アフリカ) ロバート・サーンズ (アメリカン・トレイルズ協会)
文化・生物多様性小委員会	フィボス・ツサラヴォポリス (ギリシャの道) フセイン・エリュアート (トルコ文化の道協会)
カンファレンス・イベント小委員会	ジョン・ジヘ (社団法人済州オルレ) リズ・ネルソン (ヨーロッパ徒歩旅行者協会) ヒロアキ・キシダ (NPO法人未来)
戦略・開発小委員会	ローラ・ベルレビル (アパレチアン・トレイル保存協会) ガレオ・セインツ (リム・オブ・アフリカ) ミルバ・バコ (レバノン・マウンテン・トレイル協会)

URL : <http://worldtrailsnetwork.org/>

e-mail : info@worldtrailsnetwork.org

アジア・トレイルズ・ネットワーク概要

●アジア・トレイルズ・ネットワーク

アジア・トレイルズ・ネットワーク（Asia Trails Network：ATN）は、アジア地域の主要なトレイル機関、団体及びウォーキング協会などが中心となり、2014年1月に韓国済州（チェジュ）で公式に発足しました。

トレイルについての課題や価値を共有し、トレイル関連産業の持続的な発展の構築におけるイニシアチブをとることを目的として、トレイルに関する知識の共有や効果的なクロスプロモーションのためのプラットフォーム、健康的なウォーキング旅行文化の創出、自然資源の保護、企業マーケティングの推進などに取り組んでいます。グローバルなトレイルネットワークを構築する上でも、これらアジアの主要なトレイルやウォーキング関連団体が主要な役割を担っています。



●アジア・トレイルズ・ネットワークの主な事業

- ・自然資源保存のためのキャンペーン及び活動
- ・トレイルの調査及び関連知識資源の共有
- ・トレイルを通じた健康と福祉の増進及び生活水準の向上事業の推進
- ・ウォーキング旅行の活性化及び健康なウォーキング旅行文化の構築
- ・企業マーケティング及び広報
- ・ワールド・トレイルズ・ネットワークとの連携による国際会議などのトレイル関連イベント及び事業の推進

●共同推進事業

●アジア・トレイルズ・ネットワークパスポート

アジア・トレイルズ・ネットワークパスポートはアジア地域のトレイルコースを巡るウォーカー向けのパスポートで、アジア・トレイルズ・ネットワーク認定のトレイルコースで利用できます。各トレイル上の指定された場所で、スタンプを一つ以上押していただきます。パスポートをお持ちの方には、各アジア・トレイルズ・ネットワーク認定トレイルにて、ささやかな記念品や割引サービスなどの特典をご用意しています。またすべてのトレイルのスタンプを集めた方には、完歩証明書が贈呈されます。



アジア・トレイルズ・ネットワークパスポート関連お問い合わせ：アジア・トレイルズ・ネットワーク事務局

[中国] マウンテン・ジャーニー・チャイナ

【Tel】+86(0)10-6836-8450 【e-mail】 liuxmwd@sina.com

[日本] 鳥取ウォーキングリゾート連絡協議会（特定非営利活動法人未来）

【Tel】+81(0)858-24-5725 【e-mail】 civic@npo-mirai.net

[大韓民国] 社団法人チェジュオルレ

【Tel】+82(0)64-762-2190 【e-mail】 jejuolle@jejuolle.org



●アジア・トレイルズ・カンファレンス

アジア・トレイルズ・カンファレンスは、世界中のウォーキング愛好者が参加する国際的なウォーキングイベントです。期間中、参加者がともに歩き、開催地域の自然や文化、多彩なパフォーマンス、また、食文化を楽しみます。アジア・トレイルズ・カンファレンスは、アジアの代表的なウォーキングイベントと連携して、2年に1回、トレイルや国を変えて開催されます。

●第1回アジア・トレイルズ・カンファレンス

日程／場所：2014年11月／大韓民国 チェジュ

連携イベント：2014 済州オルレ・ウォーキング・フェスティバル

(www.ollewalking.co.kr)

●第2回アジア・トレイルズ・カンファレンス

日程／場所：2015年10月／鳥取県

連携イベント：アジア・ウォーキング・フェスティバル／アジア・トレイルズ・カンファレンス

●第3回アジア・トレイルズ・カンファレンス

日程／場所：2017年／未定

第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会 参加団体一覧

【アジア】

中国

国際市民スポーツ連盟中国本部／バイル湾湿地-ジンジャン・グリーンウェイ
マウンテン・ジャーニー・チャイナ／中国国家登山路
吉林省政府

日本

特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会
一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟／ジャパンノルディック・ウォークプレミアリーグ
一般社団法人日本ウォーキング協会
九州オルレ認定地域協議会、九州観光推進機構／九州オルレ
鹿児島県自然保護課／奄美世界自然遺産トレイル（仮称）（コース選定中）
特定非営利活動法人未来／ウォーキングリゾートとっとり
山陰海岸ジオパークトレイル協議会／山陰海岸ジオパークトレイル
田辺市熊野ツーリズムビューロー／熊野古道
「歩く四国」推進協議会／四国お遍路

ネパール

サマルス・ネパールの市場開発プログラム／グレート・ヒマラヤ・トレイルズ

韓国

大邱緑色消費者連帯／大邱オルレ
江原道庁、江原コンベンションビューロー
非営利団体クビギル／クビギル
社団法人歩きたい釜山／カルメッキル（釜山広域市）
社団法人済州オルレ／済州オルレ
財団法人大韓ウォーキング連盟
社団法人ネポ文化スプギル／ネポ文化スプギル
社団法人森の道（スプギル）／智異山トゥルレギル（ジリサンギル）
統営道文化連帯
非営利民間団体ヨガンギル／ヨガンギル

ロシア連邦

「ジェニシェニ」沿海地方ウォーキングリーグ／「ジェニシェニ」ウォーキングリーグ
有限責任会社ポルタール・セゾーフ
有限責任会社ロズ・イントゥル
有限責任会社ウラドスポーツセルビス

台湾

社団法人台湾千里歩道協会／台湾トレイル

トルコ

トルコ文化の道協会／トルコ文化の道（リシアンウェイ）

【ヨーロッパ】

デンマーク

ヨーロッパ徒歩旅行者協会／ヨーロッパ長距離トレイル E1-E12

ギリシャ

ギリシャの道／キティラハイキング

アイルランド

クレア・ゲットサイドトラックド／ルー・アバーラ・ファーム・ループ

スペイン

ガリシア観光庁、シャコベオ計画管理協会／カミノ・デ・サンチアゴ（セント・ジェームズ・ウェイ）

スイス

ワールド・トレイルズ・ネットワーク

【アフリカ】

南アフリカ

リム・オブ・アフリカ／リム・オブ・アフリカトレイル

【北アメリカ】

カナダ

ブルース・トレイル保全協会／ブルース・トレイル

コスタリカ

センドロ・パシフィコ連合／センドロ・パシフィコ

パナマ

パナマ徒歩財団

アメリカ合衆国

アメリカン・トレイルズ協会／アメリカン・トレイルズ

ハット・トゥ・ハット・インフォ

PBRハワイ&アソシエイツ

ハワイ州 土地・自然資源局 森林・野生生物課 ナ・アラ・ヘレ・トレイル&アクセスプログラム

ハワイ州 ナ・アラ・ヘレ・トレイル&アクセスプログラム

【南アメリカ】

ブラジル

世界自然保護基金ブラジル

【オーストラリア】

オーストラリア

ビバルマン・トラック／ビバルマン・トラック

西オーストラリア州公園・野生生物局／西オーストラリア内トレイル

西オーストラリア州スポーツ・レクリエーション局

トレイルズWA

※9月9日現在

参加団体概要

アジア

● 中国

国際市民スポーツ連盟中国本部

● パイル湾湿地—ジンジャン・グリーンウェイ (2010/2014/2015/2016)

✉ ivv2009@163.com
qiaojin1958@163.com

URL www.chinawalking.net.cn



国際市民スポーツ連盟中国本部 (CVA) /北京毎日東方ウォーキングスポーツセンターは、2002年に設立し、2004年、中国の代表として国際市民スポーツ連盟 (IVV) に加入した。CVAは中国でIVVの事務を運営する。

CVAの4つの事業：大型国際ウォーキング大会、ウォーキング旅行、トレイルの整備、アウトドア教育トレーニング。
公式サイト：www.chinawalking.net.cn

2016年には中国のカナスで国際標準ウォーキング旅行トレイルを整備した。

CVAは世界諸外国と連携し、ウォーキング旅行とトレイルの整備、アウトドアウォーキング教育、トレーニングなどの分野で学び合い、助け合い、共に向上する。

マウンテン・ジャーニー・チャイナ

● 中国国家登山路 (2014/2015/2016)

✉ liuxmwd@sina.com (Tommy)
286764674@qq.com (Gina)

URL www.nts.cn



2009年から現在までの間に、国立トレイルシステム (NTS) は中国国内の14のトレイルを企画、設計した。トレイルは浙江省、山東省、四川省など、国中の広い地域に広がっており、全長は1,600kmに及ぶ。国立トレイルシステムは次のようないくつかの主要項目から構成されている。

1. 路面システム
2. 安全体制システム (緊急救援システムを含む)
3. 環境保護システム
4. サービスシステム

国立トレイルシステムはより優れたトレイルを開発し、全ての旅行者に安全で健康かつ科学学習ができる環境を提供するよう努力している。

● 日本

特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会

(2016)

URL <http://longtrail.jp/>



特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会は、日本においてロングトレイルの普及を図るとともに、全国各地のトレイル運営機関・団体との広報活動や情報交流などにより、海外も含めた多くの人々を惹き付ける持続可能なトレイルの開設と整備を行うこと、また、その地域の観光活性化に寄与することを目指している。現在、18のトレイル (整備中含む) が加盟しており、総延長は1,800kmを超える。

一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟

● ジャパンノルディック・ウォークプレミアリーグ

(2016)

✉ info@nordic-walk.or.jp

URL <http://www.nordic-walk.or.jp/>



2009年5月アジア初のIVVオリンピックアードが日本で開催されたことが設立の起源。独自の運動強度別の指導理論を確立し「総ての人々に有益な北欧ウォーキングスタイルの普及・啓発」をスローガンに日本全国で活動、現在3,500人を超える公認指導員を有し2016年4月にはメディカル・ノルディックウォーキングという新たな概念を打ち立て超高齢社会の救世主として更に活動の幅を広げる。全国でJNWプレミアリーグの56大会を展開し地域の観光振興にも貢献している。

一般社団法人日本ウォーキング協会

(2016)

✉ jwa@walking.or.jp

URL <http://www.walking.or.jp>



1964年10月「東京オリンピック」が開催された東京で、北米を徒歩で横断した当時の早稲田大学生が仲間と共に「歩け歩けの会」を誕生させた。

協会の主な事業目的は、ウォーキング運動の実践・育成事業、自然保護思想の普及事業、健康・体力づくり事業及びその一環としてのウォーキング大会等の開催、ウォーキング運動に関する公認指導員の養成・資格認定事業で、都道府県ウォーキング協会との連携で事業を進めている。

九州オルレ認定地域協議会、九州観光推進機構

● 九州オルレ

(2011/2012/2014/2015/2016)

✉ i-yumi@welcomekyushu.jp
qtp@welcomekyushu.jp

URL www.welcomekyushu.jp/kyushuolle



社団法人九州オルレと協力し、日本に九州オルレのトレンドを広めた。九州を横切る九州オルレを利用するハイカー達は、固有のナチュラルな視点から地域の文化と歴史を楽しむことができる。九州オルレ認定地域協議会は、九州オルレ各コースのブランドの維持管理と自主的な広報及び情報交換のため2014年2月に発足した。

鹿児島県自然保護課

● 奄美世界自然遺産トレイル（仮称）（コース選定中）

(2016)

✉ amami-worldheritage@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県では、市町村と連携しながら、世界自然遺産登録候補地を含む奄美群島をつなぐロングトレイルのコース選定を進めている。

亜熱帯の森やマングローブ、白い砂浜、サンゴの石垣の集落など奄美ならではの魅力とふれあえる道を地域住民と一緒にこれから選んでいく。

2016年からコース選定を開始し、コースが完成した地域から順次開通していく予定。

特定非営利活動法人未来

●ウォーキングリゾートとっとり

(2011/2012/2014/2015/2016)

✉ civic@npo-mirai.net

URL <http://npo-mirai.net/public/>



特定非営利活動法人未来は、「地域と子どもの未来を創る」を理念に活動しているNPO団体で2004年1月に設立された。ウォーキングがもたらす効能が、きっと鳥取県を元気にする。そう確信して、未来はウォーキングや健康でのまちおこしを推進している。「ウォーキングリゾート」とは未来が作った造語で日本で「ウォーキングリゾート」を作ること目標に掲げ、SUN-IN未来ウォークをメインイベントとして鳥取県内の美しい場所や癒しの場所をウォーキング出来るコースを広めている。

山陰海岸ジオパークトレイル協議会

●山陰海岸ジオパークトレイル

(2016)

✉ info@sanin-geotrail.net

URL <http://sanin-geotrail.net/>

山陰海岸ジオパークは美しい自然や豊かな文化、歴史、食などに恵まれた地域であり、エコツーリズムやスポーツツーリズムの舞台として最適の地域である。2015年7月に山陰海岸ジオパークトレイル協議会が設立され、日本一といわれる鳥取砂丘・高い透明度を誇る浦富海岸を中心としたコース（全長40.7km）を設定した。山陰海岸ジオパークを歩くロングトレイルルートは、海形成の過程を見られるだけでなく、海を舞台とするアクティビティなども楽しめるルートとなっている。

田辺市熊野ツーリズムビューロー

●熊野古道

(2014/2015/2016)

✉ info@tb-kumano.jp

URL www.tb-kumano.jp



熊野三山へのいにしへの参詣道を熊野古道と呼ぶ。平安時代に始まった上皇たちの熊野御幸によって知られるようになった熊野信仰は、時代が下るにつれ武士や庶民にまで広がり、一時は「蟻の熊野詣」と呼ばれるほど多くの人が熊野を目指した。

紀伊半島に広がる熊野古道は、2004年7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコ世界文化遺産として指定された。

●ネパール

サマルス・ネパールの市場開発プログラム

●グレート・ヒマラヤ・トレイルズ

(2012/2014/2016)

✉ niki.shrestha@samarth-nepal.com

URL greathimalayatrails.com



グレート・ヒマラヤ・トレイルズは、ネパールで山や丘をハイキングできるようにするトレイルネットワークである。グレート・ヒマラヤ・トレイルズは西のヒムラヤやダルチュラからエベレストとアンナプルナの人気トレッキング地域及びドルパとマカルパルの辺鄙なトレッキング地域を通して東のカンチェンジュンガまでの範囲内で、ヒマラヤ全体としてトレイルの象徴とされている。

● 韓国

大邱綠色消費者連帯

● 大邱オルレ

(2010/2011/2012/2014/2015/2016)

✉ culture803@dgcn.org

URL www.dgcn.org



大邱綠色消費者連帯 (NGO) の大邱オルレチームは2008年から2012年まで八公山に8の正規コース及び8のコースを繋ぐ4つのコースを含め、全部で12のコースを造成して現在まで運営・管理をしている。大邱オルレは季節ごとにコースの特徴がはっきりしていて難易度も様々で誰もが楽しめるウォーキングコースになっている。代表的なものとして三国時代の古墳が214基以上位置している不老洞古墳群から始まる八公山大邱オルレ6コース、ベビーカーや車いすでも利用できるバリアフリーでありながら美しい松林が自慢の八公山大邱オルレ1コース「北地藏寺コース」がある。また夏は涼しい木陰と小川のせせらぎの爽やかさを感じることができて昔の趣がそのまま溶け込んでいるような落ち着いた寺院を見ることが出来る八公山大邱オルレ7コースと8コースもある。



非営利団体クビギル

● クビギル

(2014/2015/2016)

✉ jnc1530@hanmail.net



非営利団体クビギルは江原道の古都原州地域の600年の歴史、文化、遺跡、生態、環境、伝説と説話を融合し、健康およびヒーリング、楽しみと思い出作りのための徒歩観光ルートを造成するため、2012年に地域有志20人で構成され活動している。現在15か所、280kmの予備コースを設計中である。2015年から本格的な表示及び便利施設の設置を地方自治体に要請した。

‘クビギル’の名前に示した通り、江原道の道の特色は、1) 山紫水麗な自然環境、2) 余裕を楽しむ口マン、3) 様々な道と食、そして思い出を観光客と分かちあうことを目標に造成する。

原州市は、首都圏から1時間以内に位置し、2018年冬期オリンピック開催都市として、徒歩観光活用度が高く、南漢江、蟾江、雉岳山などの素晴らしい自然が楽しめる道となっている。

社団法人歩きたい釜山

● カルメッキル

(2011/2012/2014/2015/2016)

✉ happywalking@hanmail.net

URL www.greenwalking.co.kr



社団法人歩きたい釜山は、2009年10月に始まり、釜山カルメッキルおよび徒歩運動の民間コントロールタワーとしてその役割を果たしている非営利社団法人である。そして、道を歩くことの生活化、徒歩運動の専門化を目指し、釜山を快適な緑の都市に変貌させるため先陣をきっている。また、カルメッキルは、‘カルメギ (かもめ)’と‘ギル (道)’の合成語で、カモメの形に似ている‘之’の字をモチーフに山、川、海を全て表現出来る釜山の名称で、市民公募を通じて2009年5月24日に選定された。

カルメッキルは、9コース、20の小さな区間で構成されている。短いコースは5.7km(ヘウンデ・ムンテンロード〜スヨング・ミンラクギョ)から、長い小コースは23km(グボ駅〜ソンジゴク水源地)に至る。9コース全て歩くには、大人でも約86時間かかる。

社団法人済州 (チェジュ) オルレ

● 済州オルレ

(2010/2011/2012/2014/2015/2016)

✉ julie@jejuolle.org

URL www.jejuolle.org
www.worldtrail.org



済州オルレは、済州島の海岸を沿って歩く美しいトレッキング・コースである。2007年9月に初めてコースをオープンした後、2016年8月、トータル26コース425kmに至る道が開かれている。‘自然を考え、地域と疎通する道’の哲学を込めた済州オルレは、‘韓国観光の星 (2010)’、‘韓国観光50年を輝かせた観光ギネス (2012)’、‘第一回インターナショナルトレイルアワード (2013)’、‘2014チェジュ観光大賞 (2014)’、‘第5回ホン・ジンギ創造人賞 (2014)’などを受賞し、健全な徒歩旅行文化を広める模範的な事例として評価されている。

財団法人大韓ウォーキング連盟

(2016)



✉ kwf@walking.kr

URL www.walking.kr

財団法人大韓ウォーキング連盟は国際ウォーキング連盟 (IML WA) が公認した韓国唯一の代表団体である。また世界154か国、250団体が活動している世界生活体育連盟 (TAFISA) 加盟団体でもある。韓国原州市で開かれる原州国際ウォーキング大会、全国ウォーキング大会、韓国グランドスラムウォーキング大会を開催して傘下には韓国全国にわたって14の連盟を置いている。またウォーキング指導者養成課程を実施し、国民的ウォーキング運動の主導的な役割を果たしている。

社団法人ネポ文化スプギル

● ネポ文化スプギル

(2011/2012/2014/2015/2016)



✉ gtrmam@hanmail.net

URL cafe.daum.net/naepotrail
<http://www.naepotrail.org>

社団法人ネポ文化スプギルは、2010年～2013年にかけて忠清南道の西北地域である内浦地域の4つの市群（瑞山市、禮山郡、洪城郡、唐津市）と、中部地方森林庁、民間主体で修徳寺が力を合わせ作り上げた800里あまりの内浦文化森の道を管理、運営する非営利民間組織として2010年1月に創立された。内浦地域の中心にそびえ立つガヤ山を中心に「元暁の悟りの道」、「内浦キリスト教巡礼の道」、「百濟復興軍の道」、「内浦歴史人物-東学道」の四つのテーマがある。特に2014年には、フランチェスコ教皇が内浦地域を訪問し内浦文化の道の意味がより高まった。内浦ガヤ山に集中していた無分別な開発圧力から自然を守り、我々の生活共同体を美しく作るために始まった内浦文化森の道は、トータル320kmで24の正規コースと2の子支線がある。

社団法人森の道（スプギル）

● 智異山トウルレギル（ジリサンギル）

(2010/2011/2012/2014/2015/2016)



✉ trail@trail.or.kr

URL www.trail.or.kr

智異山トウルレギルは、智異山共同体の夢を実現するために頑張っている。2004年生命平和巡礼団の智異山巡礼道の提案から始まった「智異山トウルレギル」は、歩きを通して回顧と省察の文化を育てている。3つの道（全羅南・北道、慶尚南道）、5つの市郡（求禮郡、南原市、山淸郡、河東郡、咸陽郡）、智異山周辺295kmの環状22区間で構成されている。社団法人森の道は、8つの智異山トウルレギル・インフォメーションセンター（案内所含む）を運営し、智異山トウルレギル利用に関する情報提供、運営管理に関する業務を行っている。「智異山トウルレギル」は「民官共治」の精神から、森林庁と智異山圏内の5ヶ市郡の支援のもと、利用者の協力や地域住民の参加を促している。「智異山トウルレギル」では、一周を繋げて歩く「イウムダン」、「ウォーキングフェスティバル」、「青少年たちの体験現場」、「社会的弱者の自己治癒キャンプ」、「様々な巡礼プログラム」などが行われている。より安全で、持続的社會、共に生きる社會のため省察の文化を育てている。

統營道文化連帯

(2011/2012/2014/2015/2016)



✉ ajises@hanmail.net

URL cafe.daum.net/tytrekking

통영길문화연대

統營道文化連帯は、歴史文化都市である統營を道を通じて感じるため造られた非営利団体である。統營は、美しい風景と共に至る所で美しい物語があり、文化芸術を導く芸術の里である。美しい多島海を中心地統營は、526の島があり、海を眺めながら山鳥のさえずりを楽しむことができる。

統營道文化連帯は、2011年9月から小規模のウォーキングフェスティバルを開催し、統營の隅々の美しい道を探し出し、人々と共に歩いている。統營道文化連帯は、幸せなウォーキングを実現するため、統營市の歩行環境の実態を調査し、文化財及び案内板のモニタリングも持続的に行っている。2014「年南海の春日」と共に「匠人之道 (Craftsmen's Way)」を造成し、持続的に統營芸術家の道を造成して行く計画である。

非営利民間団体ヨガンギル

● ヨガンギル

(2011/2012/2014/2015/2016)



✉ rivertrail3@naver.com

URL www.rivertrail.net

非営利団体‘ヨガンギル’は、南漢江の歴史と文化、生態の重要性和優秀性を広め、それらを文化的資産として保全、活用する事で、人間と自然の健康性を回復し、相生の社会を実現する目的で活動している。

‘ヨガン’は、驪州(ヨガン)を通る南漢江を示す。驪州の人々は、川を驪川と愛称で呼ぶほど、川に対する愛情が他より強かった。ヨガンギルは、京畿道驪州郡に位置し、名称からわかるように、川がテーマとなっている道である。京畿道驪州郡は、首都圏に位置し、川が驪州地域の中心部を通る地理的特徴を備えている。

● ロシア連邦

「ジェニシェニ」沿海地方ウォーキングリーグ

● 「ジェニシェニ」ウォーキングリーグ

(2016)



✉ walkerprim@gmail.com

URL zhenshen-tour.sitcity.ru

旧ソ連とロシアでは唯一の組織で、1990年からスポーツ・健康を維持するウォーキングを新しいスポーツとして促進している。本社会組織はスポーツ、健康、エコ、観光、エクストリーム、ハイキング分野では26年間活動している。

独自に開発した沿海地方における93のハイキングルートの中に33のルートで金賞を受賞した。15のルートは2001年、2002年、2003年、2005年に沿海地方のベスト商品として認め、14のルートは2002年、2003年、2005年にロシアのベスト100商品に入った。また、52の様々な大会の賞を受賞した。

● 台湾

社団法人台湾千里步道協会

● 台湾トレイル

(2015/2016)



✉ tmitrail2006@hibox.hinet.net

URL <http://www.tmitrail.org.tw>

台湾千里步道協会は、優美な山と海の景色および人文歴史遺産の保護に取り組んでいる。2006年から地域コミュニティ及びボランティアと一緒に草の根運動が起こり、その後、3,000km以上の台湾全島の環状トレイルを完成させた。「自然トレイルを失わせない、セメントトレイルを拡大させない」を目指して、トレイルボランティアを育成し、郊外の山トレイルの舗装状況の調査、トレイル学などを普及させる等の仕事に取り組んでいる。都市街の中では、緑の通行優先権と自然の道を推進している。地域コミュニティ郊外の山では、トレイルの市民参加と環境を守ることに重点に置いている。

● トルコ

トルコ文化の道協会

● トルコ文化の道 (リシアンウェイ)

(2012/2014/2015/2016)



✉ huseyineryurt@yahoo.com

URL www.cultureroutesinturkey.com

kateclow@trekkinginturkey.com

www.trekkinginturkey.com

トルコ文化の道協会は、トルコ全域で実務団体を連合し、設置された非営利団体である。本協会は、オフィス兼ショップを運営している。

現在、120kmから600kmまでの17のトレイルを始め、当日徒歩旅行が可能なトレイルクラスター4カ所も管理している。

ヨーロッパ

● デンマーク

ヨーロッパ徒歩旅行者協会

● ヨーロッパ長距離トレイル E1-E12

(2012/2014/2015/2016)

✉ President@era-ewv-ferp.com

URL www.era-ew-ferp.com



ERA-EWV-FERP

ヨーロッパ徒歩旅行者協会（以下ERA）は1969年に設立された。ヨーロッパ33か国に55の加盟団体を持つ。最も新しい加盟団体は、歩くことが人々の健康だけでなく、観光産業とも非常に関連が強いヨーロッパ南東部にある団体である。

ERAはヨーロッパ内の3百万人の会員と数百万人の非会員の旅行者を代表する存在である。加盟団体の多くはウォーキングの環境整備（道標の設置、小屋の建設など）や会員活動の企画に長い経験を持ち、100年以上の歴史を持つ団体もある。

● ギリシャ

ギリシャの道

● キティラハイキング

(2014/2015/2016)

✉ info@pathsofgreece.gr

URL www.pathsofgreece.gr



Paths of Greece
ΜΟΝΟΡΑΤΙΑ ΤΗΣ ΕΛΛΑΔΑΣ

ギリシャの道はギリシャ全域のハイキングトレイルの開発と国際的な広報を専門とする共同団体である。このような団体はギリシャ中探しても他には存在しない。2010年の設立以降、ギリシャ国内の様々な地域で多くのハイキングトレイルを開発している。

● アイルランド

クレア・ゲットサイドトラックド

● ルー・アバーラ・ファーム・ループ

(2016)

✉ ehogan@cldc.ie

URL www.clare-getsidetracked.ie



2015年に開発されたクレア・ゲットサイドトラックドは、アイルランドのクレア市でのアウトドアを含む銘柄である。市での主要な観光地を紹介するウェブサイトはアウトドアに関する情報の拠点である。トレイルに関する情報やダウンロードできる地図やガイドへのリンクや次回のイベントなどの記載がある。ソーシャル・メディアや道沿いの標識でPRしている。クレア地方発展会社の農業地域レクリエーション役員のエウェン・ホーガン氏が団体を管理している。

● スペイン

ガリシア観光庁、シャコベオ計画管理協会

● カミノ・デ・サンチアゴ(セント・ジェームズ・ウェイ) (2014/2016) (2011/2012/2016)



✉ francisco.singul@xacobeo.org
xerencia.xacobeo@xunta.es

URL www.turismodegalicia.es
www.xacobeo.es

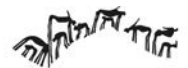
聖アゴボの亡骸が横たわっているスペインのサンティアゴ・デ・コンポステラ・カテドラルに向かう巡礼の道。1200年に至る巡礼の歴史を持つ道である。フランス・パリ等から出発しピレネ山脈を越えスペインの東から西へと北部を横断するコースが約900kmにも及ぶ。アメリカのジョンミュアトレイル、カナダのウェストコーストレイルと共に、'歩く者の夢' と呼ばれる世界3大トレイルの一つである。

アフリカ

● 南アフリカ

リム・オブ・アフリカ

● リム・オブ・アフリカトレイル (2012/2014/2015/2016)



Rim of Africa
Cape Mountains and Trails Initiative
Cederberg to Outeniqua

✉ info@rimofafrica.org

URL www.rimofafrica.org

リム・オブ・アフリカは、北部にある名高いセダーバーグ野生保護区から東部にあるオウテニカマウンテンまで、ケープ・マウンテンを横断する山岳地域を主体とした長距離トレイルである。リム・オブ・アフリカ、またはその区間を歩くことは、南アフリカのこの地域の偉大さやユニークな生物多様性を発見する機会である。毎年トレイルシーズンには、ヒョウの足跡をたどったり、九千種の植物種を楽しむ。

北アメリカ

● カナダ

ブルース・トレイル保全協会

● ブルース・トレイル (2010/2011/2012/2014/2015/2016)



✉ jrandle@bruce-trail.org

URL www.bruce-trail.org

ブルース・トレイル保全協会は、慈善団体としてナイアガラ断層 (Niagara Escarpment) を沿って歩ける道を始め、生態通路 (conservation corridor) 作りに力を注ぎ、ユネスコ指定世界生物保全地域自然生態系を保護し、自然環境に対して責任をもつ大衆活動を促すことにその目的がある。ブルーストレイルは、カナダで最も長く、古いトレイルで、ナイアガラ断層を沿ってナイアガラからトボモリ (Tobermory) まで続くこの道は、メイントレイルの長さが 885km、サイドトレイルは400kmに達する。



● コスタリカ

センドロ・パシフィコ連合

● センドロ・パシフィコ

(2016)

✓ nat@mountainsteward.net

URL senderopacifico.net (under construction)



コスタリカのセンドロ・パシフィコ連合は、モンテベルデ雲霧林保護区とニコヤ湾内のマングローブ地帯を結ぶ、自由に利用できるトレイルと山小屋のネットワークである。ベルバード生物回廊に位置しているため、野性生物生息地、土地利用区、農業地域等、様々な地帯を通過する。レジャー、教育、保全、地域の発展を重点項目としている。

● パナマ

パナマ徒歩財団

(2016)

✓ caminandopanama@gmail.com

URL www.caminandopanama.org



パナマ徒歩財団は、より多くのパナマ人がウォーキングの利点を認識する事で健康的で環境に配慮した国づくりに役立つと信じている。そのため、スペシャルイベント、基本的なトレイル情報及び地方社会に直接的に役立つ新たな道路造りの支援を通じて、パナマでのトレイルに基づいたアウトドアコミュニティを育成する。

● アメリカ合衆国

アメリカン・トレイルズ協会

● アメリカン・トレイルズ

(2011/2012/2014/2015/2016)

✓ green49@aol.com

URL www.americantrails.org



アメリカン・トレイルズは、米国の非営利政府機構である。28年間にわたり、米国人の生活の質の向上のため、フォーラムの場となり、促進役としての役割を担ってきた。すべてのトレイル利用者やトレイル活動にとって利益となるよう、トレイル、グリーンウェイ（歩行者自転車専用道路）、ブルーウェイ（ウォータートレイル）、といった国のインフラへのアクセスの促進、保全、保護、提供をはかっている。

ハット・トゥ・ハット・インフォ

(2016)

✓ sdemas@carleton.edu

URL Hut2hut.info



ハット・トゥ・ハット・インフォ (Hut2Hut.info) は長距離徒歩旅行者やスキー・自転車を利用する旅行者向けのトレイルや宿泊施設を調査し、記事の作成や情報発信を行っている。トレイル沿いにある旅行者のための小屋、ホステル、B&B(ベッド・アンド・ブレイクファスト) プラットフォーム上のテント、ホテル、寺院など様々な宿泊施設を調査している。また、楽しい旅を求める人のために、世界中のトレイルに関する旅行記も作成している。

PBR ハワイ&アソシエイツ

(2016)



✉ vshigekuni@pbrhawaii.com

URL www.pbrhawaii.com

PBRハワイ&アソシエイツ法人は、NGO団体ではなく、トレイルや公園の両方の設計を行う民間の土地計画及び景観設計会社である。プナモク沿岸トレイル文化遺産標識、コオリナ沿岸公園改善、ハエナ州立公園マスタープラン、カハヌガーデンマスタープラン、クキオ・アンキアリン・ポンド管理プランといったプロジェクトが同社のウェブサイト上で紹介されている。

ハワイ州土地・自然資源局森林・野生生物課 ナ・アラ・ヘレトレイル&アクセスプログラム

(2016)



✉ Aaron.Lowe@hawaii.gov / Dan.K.Smith@hawaii.gov / Moana.Rowland@hawaii.gov

URL Hawaii Trails.org

Torrie.L.Nohara@hawaii.gov / Clement.Chang@hawaii.gov

「ナ・アラ・ヘレ」はハワイ州のトレイルとその利用に関するプログラムである。一部のトレイルに一般の立ち入りが出来ないことや、歴史あるトレイルが開発の脅威にさらされていることに関する人々の懸念に応えるため、1988年に設立された。ナ・アラ・ヘレは近年ますますトレイルの保全、公共・商業的レジャー活動に関する規制問題や新たな法的問題に関わっている。



南アメリカ

● ブラジル

世界自然保護基金ブラジル

(2016)

URL www.wwf.org.br

世界自然保護基金（WWF）は、人材とテクノロジーによる社会運動を築くことにより、保護区を支援する革新的モデルを設立し、この事業に新しい市民を呼び込んでいる。この包括的なプロジェクトでは、3,000kmにおよぶ長距離トレイルを通じて、国内4州を結び、景観保護と領土開発を平行させて行う。これは、公園の維持と人々の健康改善のための新しい世界的な動向である。この運動の目的は、共通点を持つ他国と経験や情報を交換することにより、本プロジェクトを強化することである。これにより、新たな資金モデル、オンライン・プラットフォーム、一般利用支援（特に長距離トレイル用）を含む、革新的なトレイル支援のアプローチ強化し、長期的な社会参加を促し、他国から実際の経験を共有することができる。

オーストラリア

● オーストラリア

ビバルマン・トラック

● ビバルマン・トラック

(2014/2015/2016)



✓ mike@peregrinewa.com.au
linda@bibbulmuntrack.org.au

URL www.bibbulmuntrack.org.au

西オーストラリア州のビバルムトラックは、世界有数の生物多様性ホットスポットであるオーストラリア南西部の、最も美しく野生的な地域に1,000kmに渡って広がっている。

9つの田舎町と多くの景勝地を通り抜け、旅行者はディ・ウォーク（近距離の徒歩旅行）と地方の宿泊施設での温かいもてなしを楽しむことも、6～8週をかけてトラックを完走することも出来る。

ビバルマン・トラック財団は、州政府の公園・野生生物局をトラックの管理、保全、マーケティングの面で支援するために作られた、地域密着型の非営利団体である。

西オーストラリア州公園・野生生物局

● 西オーストラリア内トレイル

(2014/2015/2016)



✓ kerstin.stender@dpaw.wa.gov.au

URL www.capetocapetrack.com.au
www.trailswa.com.au

公園・野生生物局は、西ヨーロッパの大きさに匹敵する260万km²もの壮大な西オーストラリア州内で、400以上のトレイルを管理しており、12,500km以上の海岸線を有する。トレイルの一部はTrails WA のホームページでも見ることができる。特に良く知られているのはケープトゥ・ケープ・トラックで、ルーウィン・ナチュラリスト公園をナチュラリスト岬からルーウィンの灯台まで縦断するように125kmに渡り伸び、壮観で広大な崖の頂上からの景色や、昔のままの砂浜から隣接するンガリ・ケープス・マリン・パークを見渡せる。ビバルマン・トラックもまた有名なウォーキングトレイルである。

トレイルWA

(2016)



✓ linda@bibbulmuntrack.org.au

URL www.trailswa.com.au

トレイルWAは西オーストラリア州内のトレイルのマーケティングや広報を行う独立団体である。トレイルの情報を収集・供給することで、より多くの人にトレイルを利用してもらうことを目的としている。

※ 9月9日現在



株式会社チュウブ



永伸商事株式会社



公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

マクドナルド

有限会社ウノ・コーポレーション

山陰合同銀行

株式会社山陰合同銀行



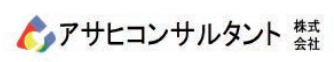
JA鳥取中央グループ



社会福祉法人敬仁会・社会医療法人仁厚会



大山乳業農業協同組合



アサヒコンサルタント株式会社



株式会社井木組



有限会社共栄組



宝製菓株式会社



株式会社中電工倉吉営業所

TOHO Ajiso

東宝企業株式会社

鳥取銀行

株式会社鳥取銀行



株式会社ホテルセントパレス倉吉



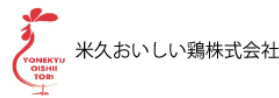
三朝温泉観光協会・三朝温泉旅館協同組合



有限会社向井組



株式会社モリタ製作所



米久おいしい鶏株式会社



株式会社エナテクス



倉吉信用金庫

神鋼機器工業株式会社

神鋼機器工業株式会社



中国電力株式会社鳥取支社

公益社団法人 鳥取県中部医師会

公益社団法人鳥取県中部医師会

鳥取県 中部森林組合

鳥取県中部森林組合



西谷技術コンサルタント株式会社

西日本旅客鉄道株式会社 米子支社

西日本旅客鉄道株式会社米子支社



株式会社明治製作所